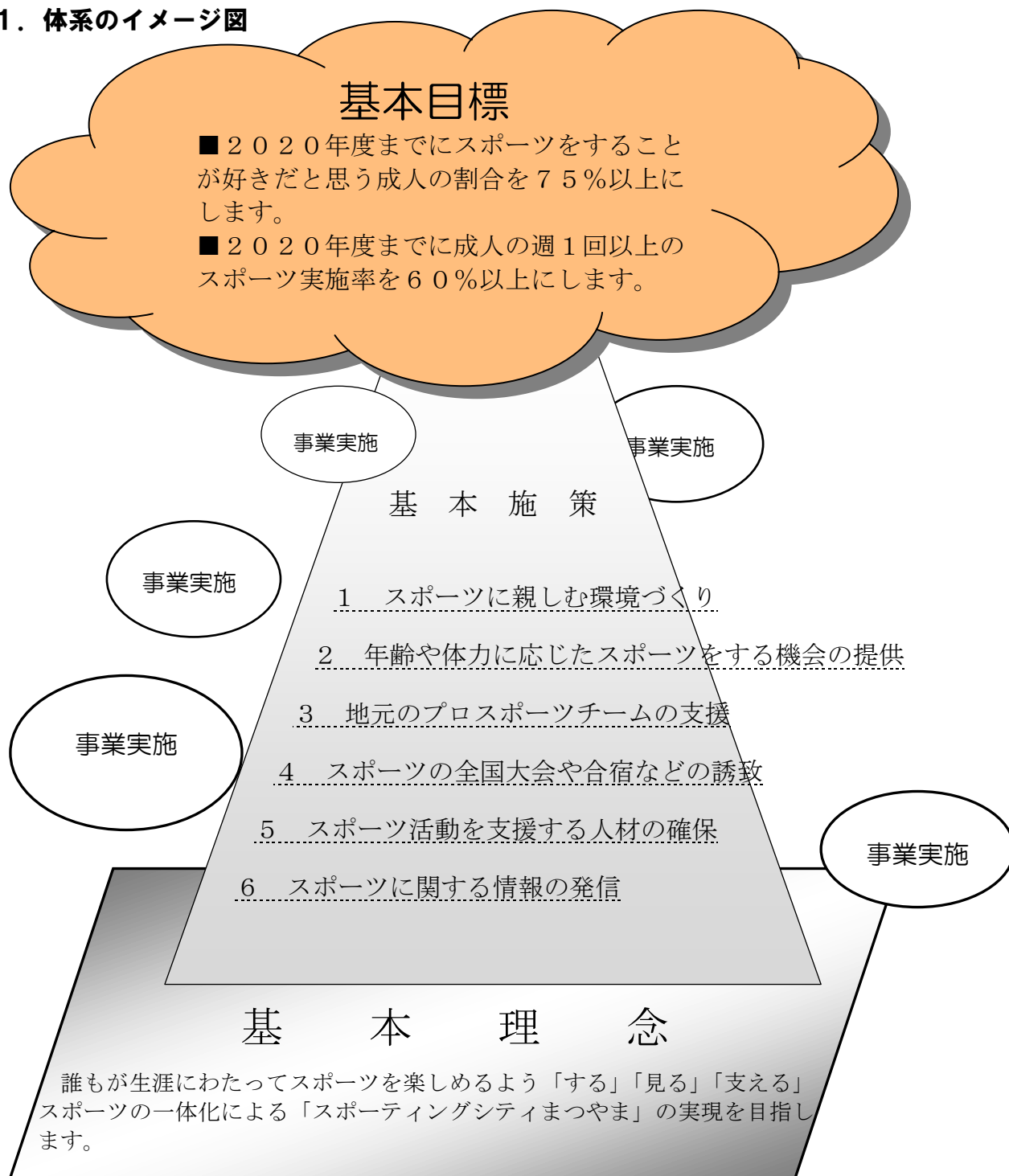


## 第2章 計画の体系

### 1. 体系のイメージ図



本計画では、本市が推進するスポーツ推進の基本理念に基づき、計画期間における基本目標を定めます。そして、目標を達成するための基本施策を設けます。

### 2. 基本理念

誰もが生涯にわたってスポーツを楽しめるよう「する」「見る」「支える」スポーツの一体化による「スポーティングシティまつやま」の実現を目指します。

本市の人口は約51万5千人（平成26年4月1日推計人口）で、年齢や性別、職業など様々な人々が生活しており、スポーツの楽しみ方は、自らの健康増進や競技力向上、また好きなチームや選手の応援、その活動のサポートなど人それぞれです。

誰もが生涯にわたり自分のスタイルでスポーツに親しむことにより、人と人とのつながりや交流が生まれ、地域社会の活性化にも繋がります。

### 3. 基本目標

本計画では、本市が行った市民アンケート調査（平成26年8月実施）\*の結果をもとに基本目標を定めています。

**基本目標** ・ ・ ■ 2020年度までにスポーツをすることが好きだと思える成人の割合を75%以上にします。  
■ 2020年度までに成人の週1回以上のスポーツ実施率を60%以上にします。

市民アンケート調査（対象者：20歳以上80歳未満）によると、スポーツをする回数が週に1回以上の人の割合は、男性約35.8%、女性約31.6%、男女合計では33.0%でした。5年前の本市の同様の調査と比較すると、4.5%低下しています。

（参考；全国平均は平成16年約38.5%、平成21年約45.3%、平成25年約47.5%（内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」報告書より））

また、今回新たに、スポーツをすることが好きかどうか尋ねたところ、全体の66.7%の市民が、「好き」、「やや好き」と回答しました。スポーツをすることが「好き」、「やや好き」と回答した人のうち43.8%の市民が、週1回以上スポーツ実施していました。一方、スポーツをすることが「やや嫌い」、「嫌い」と回答した人の週1回以上スポーツを実施した割合は11.8%でした。

更に、「今よりもスポーツの機会を増やしたい、又は始めたいか」の問に対して、全体の62.7%（スポーツをする回数が週に1回未満の人の内では79.0%）の市民が「思う」を選択しています。そこで、本計画では、様々な施策を通し、より多くの市民にスポーツを好きだと感じていただいた上で、スポーツをする機会を今よりも機会を増やしていただけるよう意識づけすることを目的とします。そして、今回の改訂では、従来目標に加え、新たにスポーツが好きだと思える成人の割合を75%にすることを目標にします。

\* 『文化・スポーツに関する市民アンケート調査』の概要・結果については30ページ以降を参照。

4. 基本施策

### 基本目標

- 2020年度までに、スポーツをすることが好きだと思う成人の割合を75%以上にします。
- 2020年度までに成人の週1回以上のスポーツ実施率を60%以上にします。

基本施策1

スポーツに親しむ環境づくり

基本施策2

年齢や体力に応じたスポーツをする機会の提供

基本施策3

地元のプロスポーツチームの支援

基本施策4

スポーツの全国大会や合宿などの誘致

基本施策5

スポーツ活動を支援する人材の確保

基本施策6

スポーツに関する情報の発信